

福精連

公益社団法人福岡県精神障害者福祉会連合会

〒812-0046

福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50

電話092-292-0560 F A X 092-292-0561

e-mail: info@fukuseiren.com

ホームページ http://www.fukuseiren.com/

第92号 平成30年4月1日発行

【家族のための電話相談】

精神障がいのある家族を、家族だけで抱えていませんか？「誰かに思いを聞いてほしい...」助けあひ、支えあひ、一人じゃないという思いで繋がっていただけませんか？

【対象者】
心の病（統合失調症、うつ病、発達障がいなど）をもつ方のご家族の方

【対象時間：平日13時～16時】
以下の相談専用ダイヤルのご利用は、この時間帯に限定させていただきます。

【相談専用ダイヤル】
・月曜日 090(1)342(5)7498
・火曜日 080(2)750(0)0646
・第4水曜日 0940(3)2731
・第1・2・3水曜日 080(3)98(6)1980
・木曜日 080(3)98(6)1980
・金曜日 080(4)27(9)2970

※秘密は守ります。
※地域の福祉情報の提供も行います。



【組織名称の変更】

（平成30年4月1日より）
「福岡県障がい者理由とする差別解消の推進に関する条例」が平成29年10月1日より施行されました。定められた今後は障がい者表示の「障がい」を「障害」とし、名称について様々な検討を行ってまいりました。3月23日に実施された理事会並びに予算総会において左記内容に変更することが承認されました。（現在）（公社）福岡県精神障害者福祉会連合会

【今後】（公社）福岡県精神保健福祉会連合会

行事案内

【理事会】
平成30年5月11日（金）
時間：14時00分
場所：吉塚会議室

【理事會】
平成30年5月25日（金）
時間：①11時 ②13時30分
場所：吉塚会議室

【みんなねっと総会】
平成30年6月4日（月）～6月5日（火）
場所：東京池袋

【事業所部会】
平成30年6月27日（水）
時間：①10時30分②13時
【法人研修会】
平成30年7月20日（金）
時間：13時
平成30年9月14日（金）
時間：13時
場所：博多サンヒルズホテル

【月刊みんなねっと】を購読しませんか？
賛助会費（会費に購読料を含む）
個人年間 3,600円
団体年間 お問い合わせ下さい。（一部還元あります。）

郵便局振込先
加入者名 みんなねっと
口座番号 0001300-0-338317
お問合先 みんなねっと
電話 03-69007-9211



※賛助会員加入のお願ひ

平成30年度の賛助会員の募集を行っています。
新規加入及び継続更新のお手続きをよろしくお願ひします。
会費個人 3千円・団体 1万円
郵便局振込先
加入者名 （公社）福精連
口座番号 01760-7-84332

【要望書】

日本の精神医療において、地域移行を待つ入院当事者が未だ多くいることは課題であり、医療中断や未受診のまま、地域で種々のサービスを受けられない、ひきこもりの状態にあり、高齢者の親などが抱え続けている当事者が多く存在することも大きな問題です。

ACCT全国ネットワークでは、添付に示すように、現在「在宅時医学総合管理料」の枠組みで支援している当事者の実態、支援の実態を緊急に調査いたしました。これをみますと、年余にわたる密度の濃い支援が、重い精神障害を持っていても地域で暮らすことが可能にし、多く再入院を抑制していることが見てとれます。今後の、地域精神医療の充実を実現可能にするために、今回の診療報酬改定に際して、以下を要望させていただきます。

- ＜要望内容のポイント＞
- 1 新たな「精神科在宅患者支援管理料」を一般科の「在宅時医学総合管理料」並みの高い評価としてください。
 - 2 年余にわたる密度の濃い支援が出来るように評価基準を作成してください。
 - 3 症状が不安定な、慢性重度の精神障害をもつ患者には、月に2回以上の精神科医の訪問診療が必要です。このことを「精神科在宅患者支援管理料」の中に盛り込んでください。
 - 4 「精神科在宅患者支援管理料」が、多くの困難を抱え、長期にひきこもりにある患者にも「重症患者」として対応できるように設定してください。
 - 5 「退院時GAF」による評価ではなく「エントリー時のGAF」あるいは「現在のGAF」による評価で「重症度」を図るようになってください。
 - 6 重症患者の算定にあたっては、「保健所または精神保健福祉センター等が一堂に会し、月に10回以上のカンファレンスを開催する」とありますが、現実的に可能な形態を再考願ひします。

平成31年度診療報酬改定の動きに対し、ACCT全国ネットワークとみんなねっと・福精連が連携し、平成30年2月5日に厚生労働大臣への要望書の提出と牧原厚労副大臣並びに厚労省精神・障害保健課への改定案の確認と要望書に関するブレインセッションを行いました。

出席者 厚生労働省側：牧原厚労副大臣 自民党、精神・障害保健課 九十九課長補佐
ACCT側：伊藤代表幹事、岡崎政策担当、渡邊研究担当
みんなねっと側：本條理事長、飯塚理事、小山村埼玉もくせい会

<食事提供体制加算に対する動きについての報告>

食事提供体制加算はこれまで通りの内容で継続が決定！～平成30年度障害福祉サービス報酬改定～
平成29年12月18日

1. NPO法人 日本障害者協議会（JD）より、全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）に対し「食事提供体制加算に対する緊急要望書のお願い」文書が届く。
2. 福精連よりJD事務局を通じて、厚生労働大臣宛に「食事提供体制加算に対する緊急要望書」を平成29年12月8日に提出する。
【要望事項内容】
①食事提供に関しては報酬に加算するのではなく、恒久的な制度とすること。
② ①の制度検討に時間を要するのであれば、当面現行の加算制度を継続すること。
3. きょうさん福岡支部より福精連に対し、食事提供体制加算廃止への動きにストップをかける緊急集会・街頭宣伝への参加並びに関連資料・チラシへの賛同団体掲載への認可等の要請があり、福精連・野澤副会長に集会に参加、スピーチをして頂いた。
4. 高木厚生労働副大臣（公明党）に日本栄養士会より、2018年度予算編成を巡り障がい福祉サービスの報酬改定に関する要望活動があった。
高木副大臣は検討する意向を示された。公明新聞：平成29年12月16日付に掲載される。
5. 12月18日の予算大臣折衝の中で、平成29年度までの経過措置とされていた当案件は、食事の提供に関する実態等について調査・研究を十分に行った上とし、今回の改定では継続されることになった。

NPO法人 日本障害者協議会（JD）<http://www.jdnet.gr.jp/>より、加算の継続を求める団体署名1,270件を加藤厚生労働大臣との面談で手渡し、追加79件は郵送しました。遅れて提出に至らなかった署名の思いも含めて、皆さんの強い要望が届き、加算廃止をストップすることができました。

平成29年度も多くの皆様から協力を頂きました。
誠にありがとうございました。
（団体24ヶ所・個人53名）



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。



平成三十年一月三十日午後一時より春日クロアバーラにて、ピアサポートの養成及び推進の研修会を開催しました。この研修は、日本財団様より費用助成を頂き実施致しました。

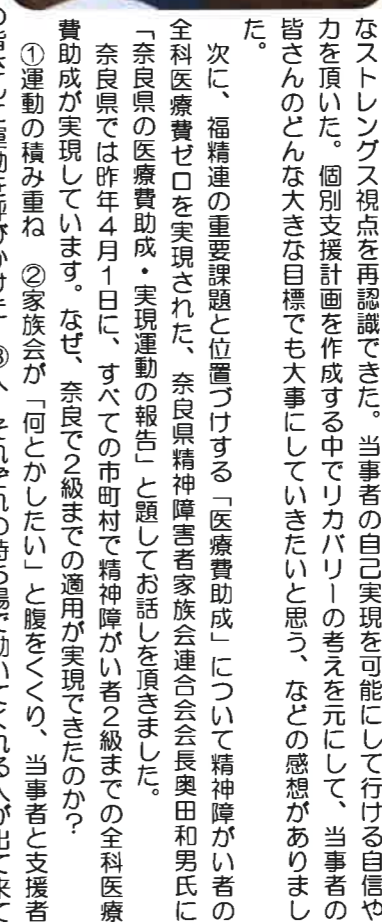
今回の講演は2テーマとし、まず初めに精神神経医学に二十五年以上も関わり、統合失調症にお詳しい久留米大学医学部 内野先生に「精神障がいを持つ人のリカバリー」と題してお話しをして頂きました。その中で「精神障がいを持つ人で、結婚や子育て、仕事をしている人はもっとも珍しくない」「精神障がいを持つ人たちが元気になる、社会と関わって行く時に大事になる考え方がだんだん広まってきた」。リカバリーとは、症状だけに焦点を当てては無く、当事者の主体性や希望を中心に据えて精神障がいと向き合っていくこと、などが語られました。

参加者からの感想の中で、特にリカバリーゴールの設定については、支援で大切なストレングス視点を再認識できた。当事者の自己実現を可能にして行ける自信や力を頂いた。個別支援計画を作成する中でリカバリーの考えを元にして、当事者の皆さんのどんな大きな目標でも大事にしていきたいと思う、などの感想がありました。

次に、福精連の重要課題と位置づけする「医療費助成」について精神障がい者の全科医療費ゼロを実現された、奈良県精神障害者家族会連合会長奥田和男氏に「奈良県の医療費助成・実現運動の報告」と題してお話しを頂きました。

奈良県では昨年4月1日に、すべての市町村で精神障がい者の2級までの全科医療費助成が実現しています。なぜ、奈良で2級までの適用が実現できたのか？
①運動の積み重ね ②家族会が「何とかしたい」と腹をくくり、当事者と支援者の皆さんに運動を呼びかけた ③人々それぞれの持ち場で動いてくれる人が出て来てくれた ④名古屋市をはじめとし近隣の愛知県内で適用が実現した ⑤運動を通じて当事者の思いが伝わった参加者からの感想では、社会的弱者を支えようとする「思い」と草の根運動的な活動から始まった活動内容や方法こそ苦労話を伺うことが出来て大変良かった。精神障がい者の実態を一つ一つ切実に訴えて行ったことが実を結んだお話しに西鉄の交通運賃割引実現と同様、思いは必ず届くの信念は重要だと思ふ。医療費ゼロが実現後、奈良県連には当事者の方から問い合わせ、福祉医療の申請手続きや会報の購読申込みが増えたことは、リアルではあるが嬉しいことに違いない。

お二人の講演の後、参加者がグループに分かれ、電話や面接での家族相談について「家族相談ハンドブック、相談事例」を活用しながら、熱心な討議が行われ、5グループの代表より討議の報告を行って頂きました。家族相談電話の担当の方や家族会の方の生の声を聞いて有意義でした。利用者(当事者)さんと接する際に「家族のことについても触れていきたいと思う。普段聞けない話が聞けて良かった。などの感想を頂きました。



作業所・事業所紹介



就労継続支援事業B型事業所

なごみの会共同作業所

施設長 廣津 輝男



当作業所は、直方市と宮若市の2か所で、特定非営利活動法人なごみの会が、「みんな自立を目指し仲良く自主的に」を活動方針として、事業所の運営をしています。

作業所では朝のミーティングで、その日の利用者の希望や体調を考えて、担当作業をしていただきます。おもな作業内容は、クッキーやケーキなどの製造。糸から織りあげる「さをり織り」の製品作成、小物手芸品の作成。EM菌と米ぬかを使ってほかしの製造。資源リサイクル活動。菓子を仕入れて、作業所の商品と一緒に委託販売先(市役所の売店やJA販売所など)に、支援員と納品も行っています。また、イベントや他の事業所での販売活動にも参加しています。



♪さをり織り♪

クッキー&精米粉



社会福祉法人 福岡あけぼの会

グループホームはーとふる

石山 真紀子



はーとふるは、その名の通り家庭的な心温まるのんびりとした雰囲気ของกลุ่มホームです。篠栗駅から歩いて少しの、また風光明媚な環境にあり、冬は、山々のきれいな雪景色。夏は、すぐ近くの川に蛍が毎年やってきます。ただ、スーパーやコンビニが駅の近くにかないのが…ではありますが、苦笑。利用者さんもスタッフも無駄遣いしなくてすんでいます。

週6日の食事もスタッフによる手作りなので、時々食事作りが苦手なスタッフが私です。汗失敗しても温かく食べてくれます。自立した生活を意識しつつも心温まる、はーとふるなグループホームを利用者さん・スタッフみんなまでめざしていきたいです。



(公社)福精連 事業所部会 / そよかぜのまち 田中 隼平
二月二十三日(金)十四時から、平成二十九年第四回福精連主催の家族・職員研修会を開催し、家族・職員合わせて四十八名が参加されました。
久留米市南部障害者基幹相談支援センター長・松下航様、障害者地域生活支援センター「のぞの杜」ピアスタッフの原口さんと齋藤さんをお招きして、今回のテーマである「事業所職員に求められるもの」について、それぞれ経験されてきたことを基に講演していただきました。

利用者に関わりの中で感じたこと、原口さんと齋藤さんは、自身も病気の経験をされた時に感じた支援者の発言に対する疑問、ピアスタッフとしての葛藤など、三名の方々の様々な視点でのお話しがありました。三名の方共に支援者として求められるものとして「一人の人として向き合う」ことを挙げられていました。

支援者主導による「支援者のための支援」になっていないか、人として向き合いながら支援を行っているのかという問いかけは、支援者として様々な気付きがあるものだったのではないかと思います。

私自身も、一人の人として、仲間(ピア)として関わりを大切にしていきたいと改めて感じることができた研修会になりました。

以下に参加者の感想文の一部をご紹介します。

- 同じ支援者として、年の差は関係なく感じる。大切な事は同じで、やりたい事、思いも同じなんだと思いました。大変、勉強になりました。
- 利用されている方との関わり方、悩むことが多いのですが、今回の講演を聞いて、視線を変えること等、考えさせられました。
- ピアとSTの違い。お互いが学びあっているという言葉に納得しました。
- ピアスタッフの方の話はすごく分かり易かったです。



アンケート調査への協力をお願い致します。

《交通利用並びに医療費に関する22種類》
①交通利用アンケート(フリーム色)については全国精神保健福祉会連合会みんなねっと九州ブロックの8県連が同時に実施するものです。
②医療費に関するアンケート(白色)については、福精連独自に実施するものです。

それぞれのアンケート集計結果をもとに、平成三十年度関係機関への要望書に反映します。
・アンケート用紙の配付(三月下旬)
・実施、回収(四月～五月末日)

*アンケート用紙は、当会報第02号郵送時と同梱しています。

*記入頂いた用紙は、福精連事務局へ
〒811-0004
福岡市博多区吉塚本町十三五〇

福岡県吉塚合同庁舎の隣
(公社)福岡県精神保健福祉会連合会
(旧)福岡県精神障害者福祉会連合会
TEL 062-262-0560 FAX 062-262-0561
メール info@fukuseiren.com

福精連会報・第03号《予告》

平成三十年七月一日発行予定

- ①タイトル「QSK福精連」とします。
- ②QSKとは、九州障害者定期刊行物協会のこと
- ③郵送方法を「身障低料第二種郵便物扱い」に変わっています。